

運動會を定廿午及四時教員

一本の佛為物 善會修信約二十五名 潤停んまつ
可く協 修 夫

一重衣布職工は自動車にて神祿會館由のいうを
撒布 子相と善會員十四五名が本部を請承
したか、この善め 予法團を以て善之結束を固から
しめ、忠 予法團 廣の請 幹 務 は之より動 機を
して地を也 善 才ん 聖をしが 同 友 會の 集力と 協 人
ん 心 山 大 予 加 予 聖 口 善。

五月十九日

一本のから善會は汽笛を鳴らす

一善の善なる信傳いう 一五ヶ枚撒布

一復師 職工三十四名 同友會員と自動車に分乗す
法會本部を市街の端由す、予議 團 晚 退 聯 盟 なる
信傳いうを二五枚一市街に撒布す

一復師の進子一予の岐れ路なる信傳いうを二ヶ午に郵送す 1087枚

一復師二ヶ午 十五 累計 百五人

一二ヶ午出勤者 百七十四名

一團員は裏れ即者續出んより市内隊の組織を變更す

五月二十日

一復師者 十一名 累計 百六十九名

一復師の進のいう一市街に撒布

一會社は復職工を教んありえり、予の善之車よか汽鐘
んたを大いし縣 縣の運轉を同 始 事